

BBLセミナー プレゼンテーション資料

2020年1月9日

「『サピエンス全史』から考える
ルールとイノベーション」

中原裕彦

法制度のイノベーション

大臣官房審議官（経済社会政策担当）

中原裕彦

現在起こりつつある変化

第四次産業革命の到来は、
これまでの

- ✓ 公的セクターと民間セクター
- ✓ 営利と非営利
- ✓ いわゆる縦割りの業界
- ✓ 組織の内と外
- ✓ 生産者と消費者



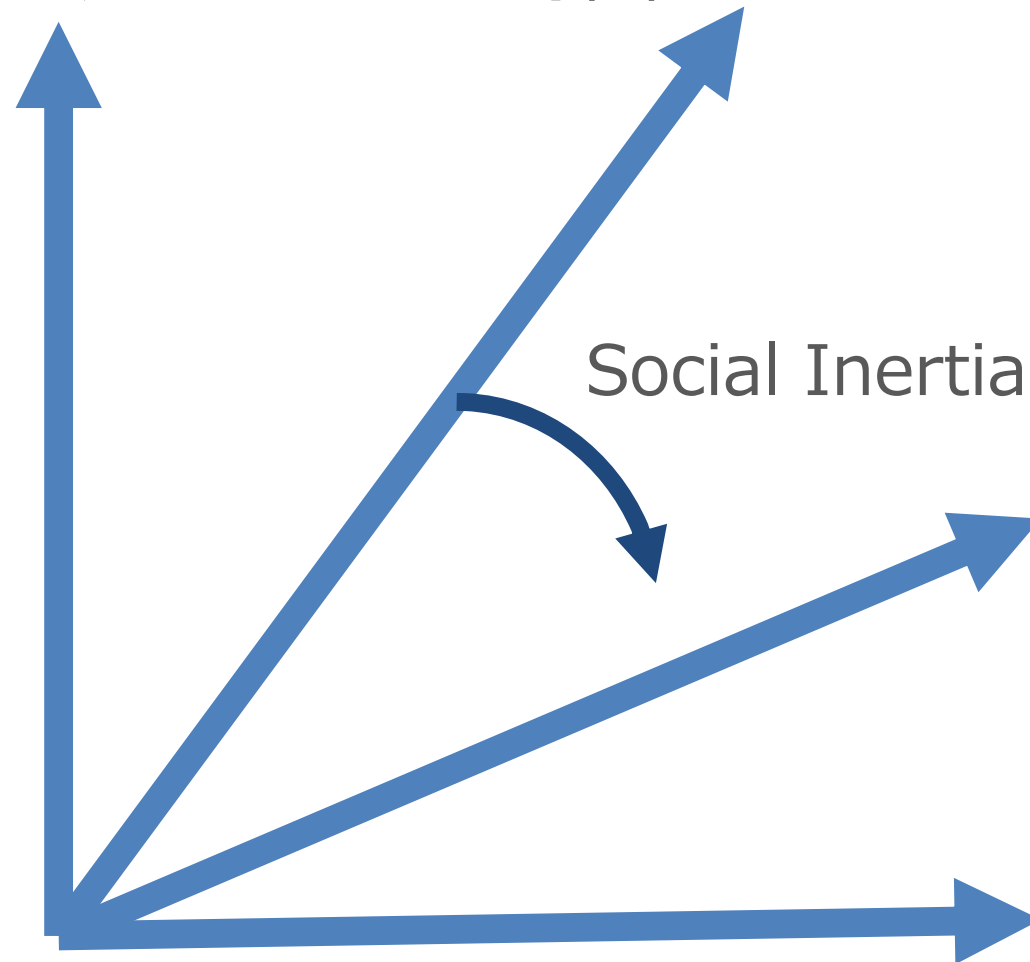
の機能の在り方の見直しを求めているのではないか。

→ 新しいビジネス・新しいルール



Innovation Dilemma in Social Institutions

新技術に対応したルールの探索



Social Inertia, Success Syndrome

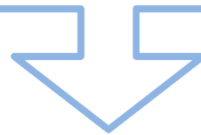
既存制度の改良・深化

企業経営における課題

- 自前主義を脱却していわゆる**オープンイノベーション**を**実質化**できるか
- **大胆な権限委譲**による**監督と執行の好循環**はつくれたか
- 「**行動しないこと自体のリスク**」、「**不作為の暴走**」、「**逸失利益**」は認識されているか
- 黒字の事業部門の売却ができるか
- 「**技術で勝って事業で負ける**」現象を克服していけるか
- 本質が宿る細部について**経営執行部が配意**することができるか
 - ▶ CDO, CFO, CIO, CLO, CTO, 等の役割が増大しているのではないか

Public Institutionsにおける課題

- 現行ルールは、現在の技術水準の下で既存の産業を前提に重厚に整備され、人員もこれに併せて配置される。
- 法律、政令、省令又はガイドラインの何れかで規定すべきかは現在の経済社会構造に沿って定められる。
- ある政策課題に対してどのランクの者が対応するのもも同様に定められる。



- ◆ 前例のない新しい技術やビジネスモデルに対応できるか
- ◆ 遅滞なく対応できないことが千載一遇のチャンスを見逃してはいないか
- ◆ 必要性や許容性をどのように確認していくか

「規制のサンドボックス」とは（生産性向上特別措置法）

“まずやってみる！”



- ・目指す新事業・新技術と、規制との関係が問題となる場合



- ・期間や参加者を限定し「**実証**」を行う

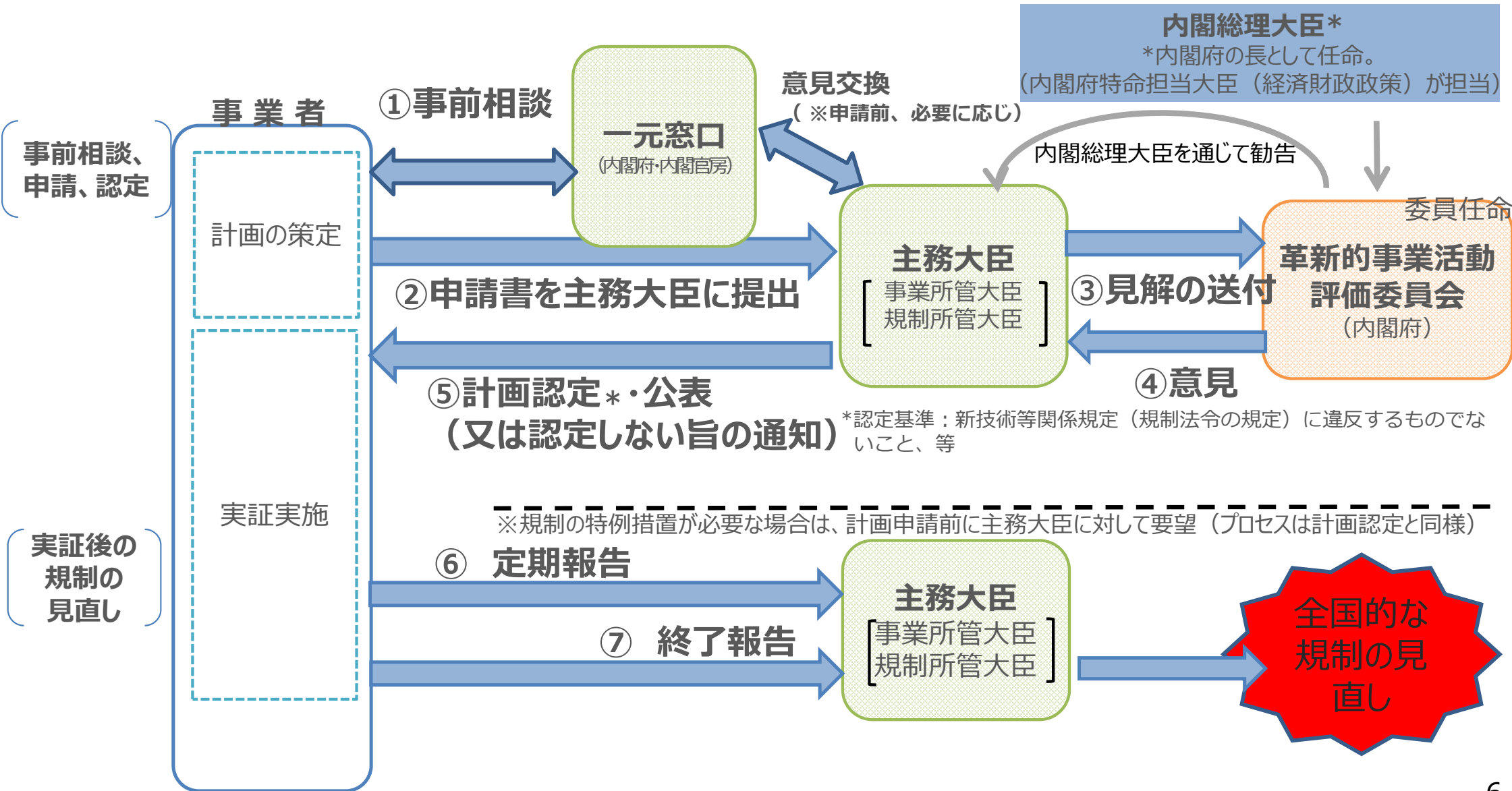


- ・実証でデータを集め、それを基に**規制改革**に繋げる



市場との対話・実証による政策形成

「規制のサンドボックス」のスキーム



New Institutions for Regulatory Sandbox

- ◆ 一元的窓口（新技術等社会実装推進チーム）
- ◆ 関係府省庁等における（規制部局以外の）推進部局
- ◆ 革新的事業活動評価委員会

認定事例

[as of November 2019]

 **MICIN**

Panasonic

 **CAULIS**

 **Kansai Electric Power**
power with heart

 **KITAHARA**
K M S I **Medical Strategies International**

 **CRYPTO GARAGE**

 **ENVIPRO**
エンビプロ・ホールディングス

SYN ECO
Good Recycling

SUSMED
Sustainable Medicine

 **Medical Corporation KNI**
Kitahara Neurosurgical Institute

justInCase

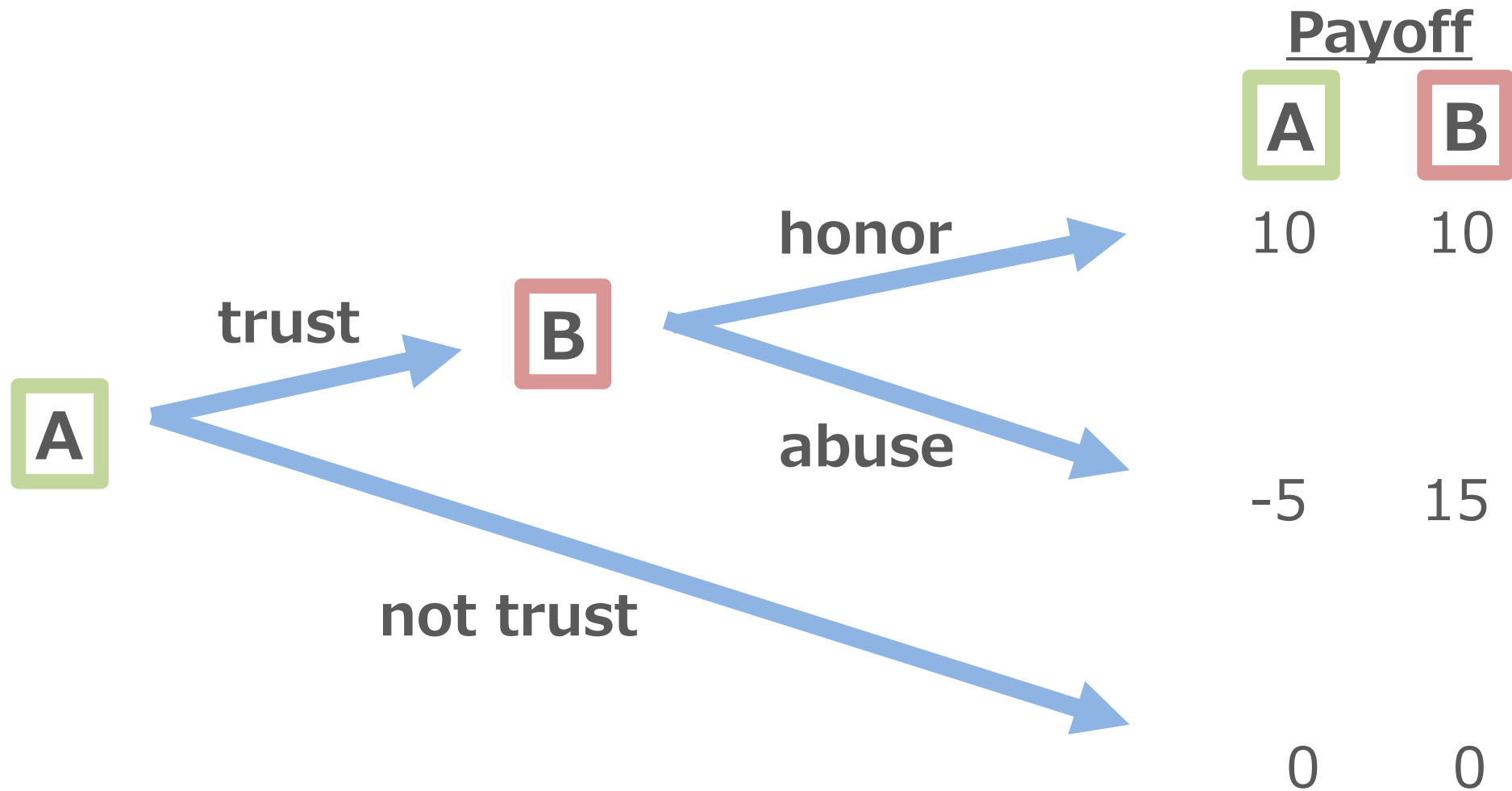
glafit®

LUUP

mobby

DADA

どのように“trust”を構築するか①



The trust game

どのように“trust”を構築するか②

Institutions as Equilibria の考え方の中で

- ➡ 第三者の**enforcement**機関を創設する
- ➡ 繰り返し（repetition）機能を利用する
- ➡ 評判（reputation）を行き渡らせる

終わりに

- ◆ 今まで頑張ってきたからこそ苦しい。
苦しいのは当たり前。悲観する必要なし
- ◆ 誰もがkeyの発案者となり得る
- ◆ 声を出していきましょう!!